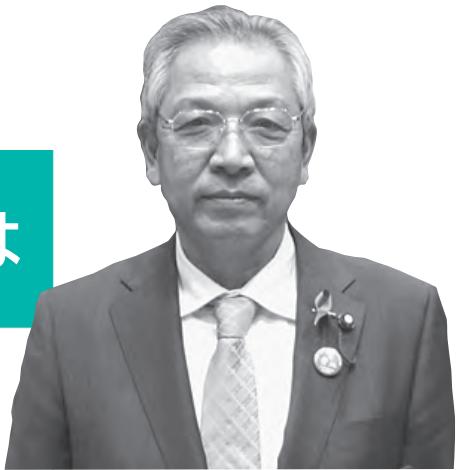


質問

小・中連携強化の進め方は

町長

施設分離型の小中一貫を見据えて



小田川 謙一 議員

地域とともにある学校活動として町内全小学校
5・6年生による「たたら体験学習」

質問 今後、仁多・横田の中学校校区において小学校は1校ずつとなります。教育魅力化を含め、よ

り一層、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の連携強化が望まれる。現状の小中連携形態を維持され

るのか、あるいは小中一貫校への転換を図られるのか。

町長 仁多・横田地域とともに丘の上にある中学校と町なかにある小学校との位置関係など、両地域同様な教育環境による施設分離型の小中一貫教育を見据えて、より一層の小中連携強化を図る。

将来的には文部科学省が推進しているコミュニケーション・スクール、地域学校協働本部の設置により地域とともにある学校への転換、子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制の構築、学校を核とした地域づくりを、行政のみならず町民の皆様との協働により推進することが重要であると考える。

町長 仁多・横田地域とともに丘の上にある中学校と町なかにある小学校との位置関係など、両地域同様な教育環境による施設分離型の小中一貫教育を見据えて、より一層の小中連携強化を図る。

町長 「町民一日議会」や「横田中学校からの提言」では、中高生の皆様から様々なご提案をいたしました。未来の奥出雲を支える子どもたちの夢やアイデアを社会全体で応援するための取組は必要で

証の上、18歳以下の子どもたちによる「まちづくり活動」に対する助成制度の検討をすべきと考えるが、町長の見解は。

質問 7月に実施した「横田中学校からの提言」、さらには、「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」の内容も見直し、対象者の拡充等も含め、子どもたちのアイデアや、子どもたちが主体的に、まちづくりに関われるような事業内容を検討していく。

質問 7月に実施した「横田中学校からの提言」、さらには、「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」の内容も見直し、対象者の拡充等も含め、子どもたちのアイデアや、子どもたちが主体的に、まちづくりに関われるような事業内容を検討していく。



町民一日議会で提案のあった、地域リハビリテーションサークル「にたまご」の活動予定拠点・旧高田小学校

提言に対する助成制度の検討を

ある。